



令和 7 年（2025 年）4 月 3 日 公表
令和 6 年版 山口県日本海側重要魚種の資源評価

アカアマダイ（日本海西・九州北西部）

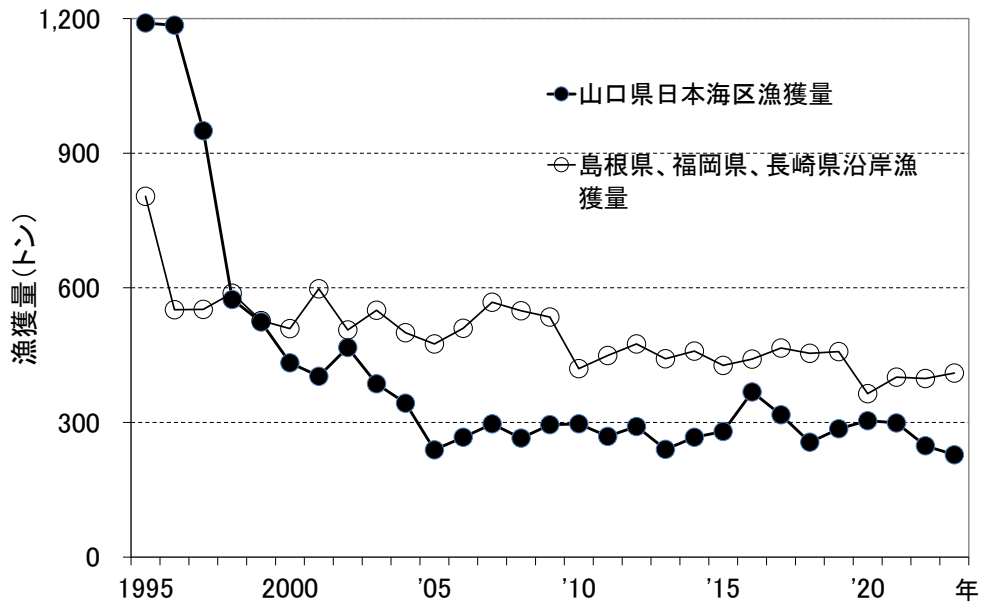


図 あまだい類山口県日本海区漁獲量及び島根県、福岡県、長崎県沿岸域の合計漁獲量（漁業・養殖業生産統計年報）の推移

【漁業】アカアマダイは主にあまだい延縄によって周年漁獲されるほか、見島周辺海域では春季を中心に釣りでも漁獲される。主な漁獲体長は 29～36cm（3～5 歳）である。

【漁獲量】山口県日本海区の漁獲量は、1999 年の新日韓漁業協定および 2000 年の新日中漁業協定により日本の経済水域が確定して以降、漁場が対馬周辺～日本海南西海域に縮小した影響で大きく減少し、2005 年以降は 200～300 トン台に低迷している。

【資源状態】山口県はえ縄の CPUE が 2000 年代前半には低位と中位の境界付近にあったと判断され、2021 年以降にはそれよりも少なくとも同等以上にあること、島根県と長崎県のはえ縄の CPUE および沖底 2 そうびきの標準化 CPUE も増加傾向にあることから、資源水準は中位と判断した。また沖底 2 そうびきの標準化単位努力量あたり漁獲量（CPUE）、島根県はえ縄の CPUE、山口県はえ縄の CPUE、長崎県はえ縄の CPUE の相乗平均から算出した資源量指標値の最近 5 年間の推移から、資源動向を増加と判断した。

資源の水準・動向		2023 年漁獲量（トン）	2025 年 ABC target（トン）	2025 年 ABC limit（トン）
水準	動向			
中位	増加	646	467	584